

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	04 07 14	中期総合計画主要施策番号	3-01	担当課	部・課	健康福祉部 健康長寿課	
事業名	遷延性意識障害者医療費給付事業				内線	2637	
					E-mail	kenko-choju@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	S55 ~	根拠法令等	遷延性意識障害者医療費給付実施要綱				
実施方法	県が直接実施					国庫・県単	県単独事業

事業の概要等	目的 (必要性)	長期にわたり意識が戻らない遷延性意識障害者の医療の推進と患者家族の経済的負担の軽減を図る。				
	対象	遷延性意識障害者及びその家族				
	目指すべき姿	障害者福祉等の制度の狭間にし位置し、医療給付を受けられない遷延性意識障害者に対し、患者家族の経済的負担の軽減を図っていく。				
	事業内容	遷延性意識障害者の治療に関する保険医療費の自己負担分を給付する。				

事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 扶助費(遷延性意識障害者)35,951千円
	最終予算額 (A)		千円	50,952	45,320	39,305	
	決算額 (B)		千円	49,807	35,951	—	
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	49,807	35,951	39,305	
	概算人件費	従事する職員数	人	1.00	1.00	1.00	
	概算人件費	概算人件費 (C)	千円	8,317	8,258	8,258	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	58,124	53,578	47,563		

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 【制度改正】 H22.10月以降の新規申請者は、医療費の一部及び食事療養費を自己負担する。 また、H22.9.30時点の受給者は、段階的に自己負担額が増加し、H25.10月以降はH22.10月からの新規申請者と同条件となる。 (効率指標 算出式) 概算事業費 / 対象患者数
	対象患者(活)	人	96	69	69	
	<効率指標(単位当りコスト等)> 患者1人当たりの費用	千円 / 人	606	777		

事業の成果	事業の目標(H23)		事業成果・評価		評価区分 b 期待どおり
	遷延性意識障害者の医療を推進するとともに、患者及び患者家族の経済的負担の軽減を図るため、当該患者に対し、保険医療費の自己負担分を給付する。		患者からの申請に基づき、遷延性意識障害の治療に関する医療費を給付した。		

事業の課題	区分	判定・説明			
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・平成22年10月1日に制度改正を実施したため、県の関与の見直し及び事業改善の余地は当面ない。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり	
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり	

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	・平成22年9月30日現在で医療費の給付を受けている者については、平成25年9月までの間、段階的に緩和措置が実施されるため、今後は制度移行に伴う申請状況を見守る必要がある。
	特記事項	